

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
教育・学校心理学		選択	2	(社.精.発) 3.4 (福.人) 3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
高田 毅	B301	t.takada		火曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>教育領域の心理学として、スクールカウンセリングを中心に学ぶ。問題の構造と支援を理解することを目的とする。学習理論、発達理論、集団力学などを教育現場に応用できることが目標である。</p> <p><概要>同時双方向授業（遠隔授業）で授業を展開する。前半は教育心理学、スクールカウンセリングの理論、後半は教育現場の問題の各論を扱う。具体例や事例を用いながら授業を展開する。Teams のコメント機能を用いた双方向授業（擬似ディスカッション）を通して理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	発言を求めながら進めるので、積極的に参与すること。 講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。 体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。				
教科書	必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	公認心理師の基礎と実践 第18巻 教育・学校心理学 第2版/編:石隈利紀/遠見書房 スクールカウンセリングモデル 100 例/著:かしまえりこ・神田橋條治/創元社 教育・学校心理学/編著:新藤聡彦・谷口明子/放送大学教育振興会				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	教育現場において生じる問題及びその背景を理解し分析できる。			WP(2)、WP(5)	
②	教育現場における心理社会的課題及び必要な支援を分析できる。			WP(2)、WP(5)	
③					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。教育・学校心理学の全体像を理解する。	同時双方向型授業	受講の意志を明瞭にする。授業後にコメントシートを提出する。	2	
2	教育・学校心理学の意義を学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
3	子どもの発達課題への取り組みの理解と援助について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
4	子どもの教育課題への取り組みの援助について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
5	スクールカウンセリングの枠組みについて学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
6	子どもの多様な援助者によるチーム援助、3段階の心理教育的援助サービスについて学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
7	発達障害の理解と援助について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
8	不登校の理解と援助について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
9	いじめの理解と援助について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
10	非行の理解と飛行をする子どもの援助について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
11	学校における危機対応について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
12	学級づくりの援助について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
13	学校づくりの援助について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
14	地域ネットワークづくりの援助について学ぶ。	同時双方向型授業	事前にレジメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	4	
15	まとめとフィードバックを行う。	同時双方向型授業	全体の学びをまとめる。授業後にコメントシートを提出する。	6	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	0	30	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	10	30
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	理解度を問う応用問題などから構成される。知識を用いて思考、表現ができているかどうか、学生固有の体験から学ぶことができているかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。				レポートを返却し、解説とフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後にコメントシートを記入する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2点×15回=30点)				コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。必要に応じて次回の授業で補足する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	臨床心理士として15年、公認心理師として4年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	Microsoft Teams を用いて、発言やチャットを随時求めながら双方向的に授業を展開する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて具体的なイメージを伝えながら知識を学ぶ。						
そ の 他	授業に参加し、自ら学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。 Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業を行う。 課題ダウンロードなどを行うので授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。						